日産

トランスフォーム™ フロアブル

Isoclast™active

園芸用殺虫剤

野菜・果樹の吸汁性害虫防除に、
唯一のスルホキシイミン系殺虫剤。

アブラムシ類、カイガラムシ類、コナジラミ類に
優れた殺虫効果を発揮！
吸汁性害虫防除のスペシャリストが、
速効力と持続力で、作物づくりをサポートします。

●いちじく、オリーブ、オリーブ（葉）に適用拡大！
●ぶどうでアザミウマ類に適用拡大！

※やまのいも、ばれいしょのみ

■ストレッチ症状
（ワタアブラムシ・タバココナジラミ）
2次元コード：動画でもご覧いただけます。

大切な実りを
吸汁被害から守りぬく！
害虫防除のスペシャリスト！

日産化学株式会社

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

■農林水産省登録：第24017号　■有効成分：スルホキサフロル…9.5%　■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類 4C　**総合版**

■トランスフォームフロアブルの特長

唯一の「スルホキシイミン系」殺虫剤です。
現在の知見において、既存のどの系統の殺虫剤とも交差抵抗性は認められていません。

幅広い種類のアブラムシ類に効きます。
試験した全てのアブラムシ種（20種以上）とコナジラミ類、カイガラムシ類に対して、卓越した効果が確認されました。

浸透移行性と浸達性があり、残効性に優れます。
散布後に展葉してくる新葉にも有効成分が移行し、一定期間防除効果が期待できます。

速効性に優れます。
散布後すぐに、ストレッチ症状が観察され、数時間後には多数の虫が落下して死亡します。（カイガラムシ類を除く）

耐雨性があります。
薬液乾燥後、降雨があっても良好な防除効果が期待できます。

■トランスフォームフロアブルの適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	10アール当り使用液量	使用時期	本剤およびスルホキサフロルを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	アブラムシ類	2,000～4,000	200～700ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布
	リンゴワタムシ、カイガラムシ類、コアオカスミカメ	1,000～2,000				
なし	アブラムシ類	2,000～4,000				
	カイガラムシ類	1,000～2,000				
かんきつ	アブラムシ類	2,000				
	カイガラムシ類、アザミウマ類	1,000～2,000				
	ゴマダラカミキリ成虫	2,000				
もも	アブラムシ類			収穫7日前まで		
	カイガラムシ類	1,000～2,000				
いちじく						
小粒核果類、ネクタリン	アブラムシ類	2,000		収穫3日前まで		
	カイガラムシ類	1,000～2,000				
おうとう	カイガラムシ類、コアオカスミカメ					
ぶどう	カイガラムシ類、アザミウマ類					
キウイフルーツ	カイガラムシ類					
かき				収穫前日まで		
マンゴー		2,000		収穫3日前まで		
オリーブ				収穫7日前まで	2回以内	
オリーブ（葉）				収穫30日前まで		
ばれいしょ	アブラムシ類		100～300ℓ	収穫7日前まで	3回以内	
		32	3.2ℓ			無人航空機による散布
ごぼう		2,000	100～300ℓ	収穫3日前まで		散布
やまのいも		32	3.2ℓ			無人航空機による散布
キャベツ	アブラムシ類、ネギアザミウマ	2,000	100～300ℓ	収穫前日まで		散布
だいこん、レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、ブロッコリー、未成熟とうもろこし	アブラムシ類					
はくさい				収穫3日前まで		
ほうれんそう、食用ぎく					2回以内	
しそ				収穫前日まで		
きゅうり、なす、ピーマン						
	コナジラミ類	1,000～2,000				
すいか、メロン、いちご	アブラムシ類	2,000			3回以内	
	コナジラミ類	1,000～2,000				
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	2,000			2回以内	
	コナジラミ類、トマトサビダニ	1,000～2,000				
みょうが（花穂）	アブラムシ類	2,000			3回以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。
きく	アザミウマ類	1,000～2,000		発生初期		散布
つつじ類	ツツジグンバイ	2,000				

■使用上の注意事項

●使用前に容器をよく振ってから使用してください。●本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。●ぶどうに使用する場合、果実肥大期（大豆大）より後の散布においては、果粉の溶脱を生じることがあるので十分注意してください。●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。・散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施してください。・散布機種に適合した散布装置を使用してください。・散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。・散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。・関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。●散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。●間引き菜及びつまみ菜に使用しないでください。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。●直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。　●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。　●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年7月現在の知見に基づき、作成されています。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ https://www.nissan-agro.net/
お客様窓口 TEL.03-4463-8271（9:00～17:30 土日祝日除く）